



No.2590 パルプ篩分試験機(4槽標準型)

本機は様々な形状の繊維をスクリーンによりそれぞれの長さに容易に篩分ける装置です。各々異なったメッシュの金網を備えた4個の篩分槽と注入槽によりなり、パルプと共に一定の流速で水を注入することにより、繊維は順次水流と共に段差をつけて直列に配置された4個の槽に篩分けされます。尚、繊維のスクリーンへの付着を防ぐため、攪拌装置を装備し、Vベルトにより連結し機構を簡素化し騒音を抑えています。

< 特長 >

1. 槽の配列を一行にしたため操作がし易く、壁際に設置できる
2. 篩分各槽の排水バルブをなくし、ゴム栓を採用したので、繊維が管中に付着することがない。又はボールバルブを取付けた型式もあります
3. 攪拌装置の回転部分はボールベアリングを使用しているので、音が静かで回転が円滑である
4. 試料注入槽が天板埋込型のため、内部確認や洗浄が容易である
5. 篩分槽に金網を固定する方法に、レバー締付け方式を採用し、作業性が大幅に向上しています

試料	絶乾 10g 濃度 1%
篩分槽金網目の開き μm	1400(12)、1000(16)、710(22)、500(30)、355(42)、300(50)、250(60)、180(83)、150(100)、106(140)、75(200) [括弧内 m/s] この中から4枚選択
試料槽	容量 2L
流速	8.3L/min
流量計	フロート式 10L
回転数	800rpm
金網固定	レバーワンタッチ式
参考規格	JIS P-8207-2009
電源	100/110V 50/60Hz 3A
外形寸法	1450×480×1530mm
重量	127kg

No.2591 パルプ篩分試験機(バット1個型)

本機は No.2590 と同じく、スクリーンを通じてパルプ繊維をそれぞれの長さに篩分けるもので、繊維長の分布状態、叩解による繊維長変化の測定に使用されます。バット4個型に比べ、操作は簡便で正確なる測定ができますので、工場の叩解工程管理には最適の機械です。

篩分槽金網目の開き μm	1400(12)、1000(16)、710(22)、500(30)、355(42)、300(50)、250(60)、180(83)、150(100)、106(140)、75(200) [括弧内 m/s] この中から1枚選択
流速	8.3L/min
回転数	800rpm
金網固定	レバーワンタッチ式
参考規格	JIS P-8207-2009
電源	100/110V 50/60Hz 2A
外形寸法	590×440×1130mm
重量	35kg